

静岡県議会議員

田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053-447-3820
夜 053-440-7100

平成 24 年 1 月 1 日

創ろう！元気な浜松&静岡県

2012年 のお約束 フロントニア精神を忘れない！

新春を寿ぎ、謹んで皆様方のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は東日本大震災や台風襲来など自然災害が猛威を振るった年でした。加えて超円高という産業への逆風もあり、日本全体にとって本当に厳しい年になりました。

本年は辰年。昇竜のように元気な年になるよう期待したいものですね。

私自身は、皆様方に本当にお世話になった年でした。静岡県議会へと転身する中、「基礎自治体（市）」と「広域行政（県）」の役割分担のあり方を常に意識しつつ活動いたしました。

微力ながらも、浜松市議会での経験を活かし、地域主権改革の勉強を進め、さまざまな提言に努めることができましたと思っています。

引き続き、行財政改革をはじめ産業振興、地震津波対策、原子力発電所の安全確保など、県として今やらなくてはいけないことを着実に進めていけるよう、みなさんと意見交換しながら取り組んでまいります。

さて静岡県が掲げる「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」づくり。今年は、その国土軸として、三ヶ日から御殿場まで県内 162km 区間で「新東名高速道路」が開通します。予定では「初夏までに」と言われており、交流人口増のほか、企業誘致や産業活性化、さらには防災対策についても、新たな進展が期待できます。県ではこれを大きなチャンスととらえ「内陸フロントニア」事業を進めていく予定です。

“フロントニア”。この言葉、閉塞感の漂う今だからこそ、大事なキーワードではないでしょうか。平成 24 年、私は「フロントニア・スピリット」を持って、元気いっぱいガンバります。みんなで力をあわせて元気な静岡県を創っていきましょう。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

平成 24 年 初春
静岡県議会議員 田口 章



平成23年度の県議会を振り返って


★広域行政として定例会ごとに下記のテーマに取り組みました

県の役割は市町が単独でできないことを“広域行政”として行うこと。昨年は次のような議論を重ねてきました。

議会 メインテーマ	補正予算の主なポイント	主なトピックス
5月臨時会 震災対応	通常、5月臨時会は議会人事を行うだけですが、今年は異例となる補正予算審議を行い、東日本大震災への対策(被災者支援・緊急経済対策)として23億円余を議決しました。	
6月定例会 エネルギー対策	5月の浜岡原発停止を受け、エネルギー政策を議論。中でも新エネルギー対策として、家庭用太陽光発電への助成制度を拡充するなど25億円余の補正予算を議決しました。	電力不足に備え自動車産業が夏期の土日稼働を決めたことから、県民生活への影響について議論しました。
9月定例会 雇用対策	リーマンショック・震災・円高と長引く不況で疲弊する雇用への対応や、東海地震対策を中心に81億円余の補正予算を議決しました。	日本航空との搭乗率保証をめぐる訴訟の和解が成立しました。
12月定例会 安心安全の確保	台風災害への対応や地震津波に備えたハード対策など県民の安全確保、また医療体制確保、雇用対策のため186億円余の補正予算を議決しました。	不祥事が相次いだ教育行政について厳しい意見が出され、知事も「教育改革」への意欲を示しました。

★平成22年度決算を家計にたとえると…

- ① 「ローン」の返済額より借入額が大きいので借金は増える一方です。
- ② 国の財政状況を考えると「友人からの援助」に頼ってばかりではいけません。支出の中味を見直す必要があります。

 県の収入と支出を家計簿に例えると? ~ふじっぴ一家の家計簿~
ふじっぴ一家の月収を50万円にした場合、収入と支出の内訳は次のとおりです。

収入			支出		
給与(基本給)	県税	17.2万円	生活費	人件費、行政費	17.8万円
給与(諸手当)	地方交付税など	12.8万円	医療・介護	扶助費	3.3万円
友人からの援助	国庫支出金、寄附金	6.5万円	家の増改築、家具・家電の購入など	投資的経費、維持修繕費	7.6万円
ローン借入	県債	9.4万円	ローン返済	公債費	7.3万円
預金引き出し	繰入金	1.7万円	友人への援助など	奨励助成費	10.4万円
その他		2.4万円	その他		3.0万円
合計		50.0万円	合計		49.4万円
			収入・支出の差引	翌年度への繰越金	0.6万円

(参考) 勤労者世帯の月収(1世帯当たり) (H22 総務省「家計調査年報」)

費目	静岡市	全国
実収入	543,916円	520,692円
可処分所得(手取り収入)	451,258円	429,967円

広域行政の役割と財政健全化を念頭に、2~3月に24年度当初予算案を議論します。内容は3月号でご報告します。

1～2月 私の注目の取り組み

★「雇用創造アクションプラン」について

リーマンショック以来、厳しい経済環境が続いていましたが、去年はさらに震災、円高と続き、産業、雇用政策は喫緊に解決すべき大きなテーマのひとつとなっています。

県では1月末をメドに「同プラン」を策定し、3万人の新規雇用創出をめざしますが、12月末にその案が示されました。

まだ具体性にかける部分がありますが、実効性の高い計画策定に向けチェックしていきます。

◆「雇用創造アクションプラン」施策展開の2つの方向

新たな雇用の場を創出するための取り組みを実施することで雇用を誘発し、併せて、雇用の場へ人材を供給する取り組みを実施することで、新たな3万人の雇用創造の実現を目指す。

◎雇用の創出【雇用誘発人数 47,900人】

成長分野の産業の育成や地域基幹産業の活性化、企業誘致を積極的に推進し、新たな雇用の場の創出を目指す。

<施策展開の柱>

- (1) 新エネルギー、医療・健康など成長分野の産業の育成(6200人)
- (2) 介護、福祉サービスの充実(5600人)
- (3) 製造業、建設業など地域基幹産業の活性化(10500人)
- (4) 企業立地の促進(6600人)
- (5) 創業等の促進、NPO活動など多様な就労機会の創出(3700人)
- (6) 産業施策と連動した民間主体の雇用の創出(15300人)

◎人材の供給【人材供給人数 30,000人】

雇用のマッチング促進と未来を担う人材の教育・育成を両輪とし、労働市場のニーズに応じた人材の供給を目指す。

<施策展開の柱>

- (1) 雇用のミスマッチ解消など雇用のマッチング促進(16600人)
- (2) 未来を担う人材の教育・育成や能力開発の支援(13400人)

★海外進出支援のための視察計画(1/23～2/4)

「海外進出支援は産業空洞化や雇用喪失につながる」。こうした声を聞くことがあります。

しかし、ものづくり産業の実態はもうそんな悠長なことを言っている状況ではありません。

県内の産業、雇用を維持するために、アジアの成長をいかに県内経済に還流させるか。これは真剣に考えるべき大きな課題です。

私はこれまでも、海外進出企業の経営者のご意見をお聞きする中で、「県の情報提供機能の強化」、「駐在員事務所の活用」、「進出企業への融資制度の拡充」、「要員派遣にかかる支援」などを提案してきました。

しかし、やはり海外にいらっしゃるみなさんから、直接、ナマの声を聞き、現場を見て、スピード感を持って施策の実現につなげる必要があると感じています。

現在、調整中ですが、下記の予定で、進出企業様を訪問させていただく予定です。

1/25～28 インドネシア(MM2100・KIIC工業団地他)

1/30～31 ベトナム(ロンビン工業団地、他)

2/01～03 タイ(ロジャナ・ピントン工業団地、他)

みなさまの現地工場にもお伺いするかもしれませんが、お忙しい中ご迷惑をおかけいたしますが、その際はご協力をよろしくお願い申し上げます。



昨年は東日本大震災をはじめ身近なところでは台風被害もあり、自然の猛威を痛感させられました。加えて超円高もあり、静岡県(とりわけ西部地域)の経済には大きな影響を与えました。

景気がスグに回復するとは思えませんが、今年は「辰年」。昇竜のように元気な年になってほしいですね。

写真は昨日佐鳴湖畔で行われた入野地区自主防災隊による出初式。開会式で、「昇竜のような一斉放水を！」とごあいさつをさせていただきましたが、いかがでしょうか？ <中略>

今年は初夏までに(中日新聞によれば GW 前に)、新東名高速道路が開通します。それに先行して 3/4 には、三遠南信道路の一部も開通しますが、県ではこうしたインフラ整備を基盤にして、“内陸フロンティア”事業を進めていく考えです。

私ももうすぐ 50 になりますが、県議としては 1 年坊主。今年は“フロンティア・スピリット”を持ってガンバります。

【日々の活動はブログをご覧ください】

★創ろう！元気な浜松&静岡県

田口章 で検索

【あとがき】今年の元旦は風のない穏やかな朝でした。平穏な中にも昇竜の力強さを感じる年にしたいですね。

さて今月末から東南アジア 3 カ国を視察します。浜松を中心とした県内からの進出企業を訪問する予定です。アジアの成長をいかに取り込むかは日本経済の大きな課題です。静岡県として何ができるか、しっかり調査してきます。

後援会だより 2 月号ではその報告を予定しています。帰国後の発行になりますので月初からは若干遅れる見込みです。

12月の活動報告

- 02(金) 政務調査研究報告会
- 03(土) 浜松特別支援学校フェスタ
入野保育園キッズフェスティバル
浜松三田会総会
- 04(日) 地域防災の日(自主防災隊訓練)
- 05(月) 放課後児童会育成会
- 06(火) 本会議
- 07(水) 本会議
スズキ協講演会
- 08(木) 本会議(一般質問 初登壇)
- 09(金) 本会議
- 12(月) 本会議
商工会連合会との意見交換会
- 13(火) 会派総会
24 年度予算ヒアリング
- 14(水) 常任委員会
- 15(木) 常任委員会
- 17(土) 佐鳴湖感謝祭
大平台冬フェスタ
- 20(火) 会派政策調査会
- 21(水) 本会議・会派総会
- 23(金) 会派街頭広報(東区・浜松駅前)
連合地協 議員団会議
- 24(土) 会派街頭広報(浜北区・北区)
- 25(日) 会派街頭広報
(磐田市・南区・西区・湖西市)
- 27(火) 雇用創造県民会議傍聴

1月の活動予定

- 01(日) 入野地区出初式
- 04(水) 浜松青年会議所賀詞交歓会
- 05(木) 自衛隊賀詞交歓会
- 06(金) スズキ賀詞交歓会
浜松商工会議所賀詞交歓会
浜松経済クラブ賀詞交歓会
- 07(土) さなるスポーツ少年団初蹴り
浜松市出初式
33 分団表彰式
- 08(日) 入野地区成人式
- 10(火) 会派総会
連合静岡議員団会議
入野地区自治連会議
- 11(水)~12(木)
産業委員会県内視察調査(伊豆)
- 16(月) 県政報告会
スズキ労組研修会
- 18(水) 多文化共生都市 国際シンポジウム
- 23(月)~2/4(土) 海外視察
(インドネシア・ベトナム・タイ)